

ミニデイサービス便り

みんなの発表会

5月19日(日)今日は、ミニデイ参加の皆さんの晴れの舞台の日。「まごころ」の総会後の交流会で出演です。この日のために何度も何度も練習を重ねてきました。

いよいよ開幕です。90歳のHさんが弾くピアノでサンタルチアが流れる。序々に幕が開く。会場から「ああっ」と声があがった。

それもその筈。黒のTシャツに黒のロングスカート、頭にはベージュのベレー帽が斜めに、胸には赤や黄色のぼらのコサージュが。

まさしくレディーが9人ずらっと、前に手を組み、からだをゆらしながら、もう一人のピアニストIさんの弾く音に合わせ、素晴らしい歌声を披露。見事な声を響せ課題曲「サンタルチア」が始まった。

皆さんの顔には、おしろいと口紅。とてもきれいだった。楽屋でごく自然にお化粧が始まったようである。勿論、普段のデイには殆どの方が化粧はされていない。

また、素敵なおベレー帽は、スタッフのTさんが、何度も製作に挑戦、苦勞の末の作品。

お陰で、本当にお年寄りがレディーに変身。会場から驚きの声も当然の事。着替える時は、ふらついて足取りが、舞台の進む時は、しっかり、堂々と演技された。

プログラムを詳しくご紹介したいくらい、皆さんそれぞれに見事でした。

ピアノ独奏なつかしい「ふるさと」、ピアノ5曲メドレーの方は3人で皆お見事。ばらが咲いた、川の流れのように、聖者の行進、上を向いて歩こう、365歩のマーチ等々聞き惚れました。味わい深い詩の朗読も3人、智恵子抄、雨ニモマケズ、相田みつを「道」。

和太鼓は元気いっぱい。腕のリハビリも兼ねたものだった。ローライの独唱は、お見事の一言。川の流れのようにを最後まで歌い切られたKさん。脳梗塞の後遺症で言葉が少し不自由。練習を積まれ最後まで堂々と。

デュエットとダンスは楽しい一言。ボックスで3拍子のふるさとのピアノに合わせて踊ると車椅子も一緒にと大騒ぎ。楽しいダンスタイム。全員による楽器演奏2曲はもう大迫力。感動しました、と会場から言葉をいただいた。お年寄りの持っておられるパワーに毎回敬服である。

平成14年6月のミニデイサービスは
 保育園 6月13・27日
 事務所 6月4・6・11・18・20・25日



映画会

第19回福祉映画祭開催

2002年6月14日(金)~6月16日(日)

- 6/14 (テーマ・精神障害について) フォーラムと映画)
- 6/15 (テーマ・聞こえない世界と表現) " と映画)
- 6/16 (テーマ・介護 自分らしく生きるための介護とは) シンポジウムと映画)
- ◆参加料・1日1,000円
- ◆場所・東海テレビテレビピアホール 名古屋市東区東横1-14-27
- ◆お問合せ・AJU車椅子センター(052-841-8841)

講習会

介護保険指定事業者講習会

日時・平成14年6月12日(水)
 場所・名古屋市公会堂大ホール
 内容・介護保険の現況
 介護サービス提供の留意点
 介護サービス事業者等の指導状況
 事例から学ぶ介護保険の質の向上について
 その他の連絡事項

6月の予定

- 1日(土) 会報「まごころ」発行
- 2日(日) 定例会
- 3日(月) 知的障害者支援にかかわる養成講座開催
- 4日(火) ミニデイサービス (場所・事務所)
 コーディネーター会議
- 6日(木) ミニデイサービス (場所・事務所)
 一宮在宅療養支援システム講演会
 理事会
- 10日(月) 知的障害者支援にかかわる養成講座開催
- 11日(火) ミニデイサービス (場所・事務所)
 ミニデイ委員会・コーディネーター会議
- 13日(木) ミニデイサービス (場所・保育園)
- 14日(金) ポプリー作業所へ施設実習
- 14日(金)~16日(日) 福祉映画祭 (テレビホール)
- 17日(月) 「在宅福祉と食事サービス」の講演会 (県社会福祉会館)
 ポプリー作業所へ施設実習
- 18日(火) NPO法人瀬戸地域福祉を考える会まごころ来所
 ミニデイサービス (場所・事務所)
 コーディネーター会議
- 20日(木) ミニデイサービス (場所・事務所)
 ミニデイ定例会
- 21日(金) 各部会委員会
- 25日(火) ミニデイサービス (場所・事務所)
 ミニデイ委員会・コーディネーター会議
- 27日(木) ミニデイサービス (場所・保育園)
 理事会

一宮市在宅療養支援システム講演会
 講師・東京都老人総合研究所 期待されるもの
 研究部長 本間昭先生
 内容・「痴呆性疾患に対する在宅ケア」
 医療・介護・福祉関係者に
 会場・平成14年6月6日(木) 14時~15時45分
 一宮平安会館

平成14年度の理事と監事が決まりました。皆様のお陰で会は10年目を迎えました。初心にかえり、必要とされる活動を丁寧に行っていきたいと思っています。ご指導下さいますよう、よろしくお願い致します。

- 小川裕紀子 (副代表)
- 小野木みどり (副代表)
- 川崎ユミ子 (副代表)
- 小島和子
- 城田幸江
- 野田満喜子 (副代表)
- 平田和香 (代表)
- 水野元子 (事務局長)
- 山田宏子
- 安福栄子 (監事)
- 築城基裕 (監事)

ある外科医の独り言

ランの館

高 勝義

5月の連休、あいにくの雨であり、家に居ても仕方がないので、妻と一緒に名古屋に出かけることとした。

名古屋市科学博物館で一般市民向けの癌の展示会を見学し、その足でもって待望の「ランの館」に出かけた。

私はランが好きであり、ランを始めてからもう10年以上は過ぎたであろうか。家には3坪ほどの温室を持っている。

「ランの館」は名古屋市が下水処理場後に作った大変すばらしい施設で、大きな温室に美しいランが飾られていると聞き、以前から一度は行ってみたいと思っていた所である。連休の真最中で、大変混んでいることだろうと思っていたが、それ程でもない。食事を済ませ、ラン園に入った。確かに色々なランが飾られているが、なんとなく雑然とした感じである。

色々な企業が出店するラン展に比べると、花の美しさも、派手やかさも、珍しさも一段と落ちるのである。それでも、珍しいランの花をカメラに収めながら、温室の外に出た。

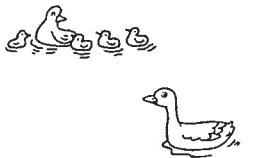
外には大きな花の特売場が設けられている。広場の片隅に、今まで展示されていたのであろう、花の無くなった、半ば朽ち果てたような、惨めなランが安売りされているのではないか。いつもの悪い癖が出て、この朽ち果てたようなランをもう一度生き返らせ、花を咲かせてみようという気になった。

花の咲いていたときの半値以下である。欲もからみ、良さそうなものを色々と探し出したのである。お勘定はラン園の出口にある花の売店ですらようになっていく。選んだ花を運ぶために、売店に出かけ、持ち運び用の籠はないのか、あるいは籠に相当するものはないのか、店員に聞いたのである。「そんな物はないよ！自分の手で運んで来て下さい」と、素っ気ない返事である。朽ち果てたランが並べられている所から売店までは、かなりの人混みの中を通り、おまけにかなりの距離があるのである。一体どうやって花を運んだらいいのか本当に困ってしまう。この花屋は、一体花を買ってほしいのか、買ってほしくないのか聞きたくなくなってしまったのである。私なら、スーパーで備えているような籠を用意するであろう。ちょっとした気遣いの無い「ランの館」である。

大きな施設、きれいな施設、贅沢な施設であるが、そこで働く人々に問題ありである。どんな大きな病院になっても、どんな設備をしても、そこで働く医療者が良くなければ、決して良い医療は出来ないと教えられた「ランの館」であった。(山下病院院長)

在宅活動件数	15件
" 活動人数	22人
" 活動時間	233.5時間
ミニデイサービス利用者	48人
移送サービス利用者数	38件

協力会員	39人
利用会員	42人
賛助会員	125人
計	206人



訪問件数	56件
家事	502.5時間
複合型	353時間
身体	242時間
合計	1097.5時間

7月の定例会は
 7月7日(日)事務所 9時30分~12時30分
 ◆定例会 9時30分~10時30分
 ◆ケア検討会 10時30分~12時30分
 この日の午前のケアはお休みです
 利用者さんよろしくお願い致します